

3月度月例研修会

★身近なデイサービスの上手な利用方法★

斎藤 修 会員



1. 特別ではない介護サービス

他国に類を見ない速さで高齢化が進む我が国の介護サービスは年々増え続け、その内容も多種多様なもので、現代社会には必要不可欠なものとなってきております。このような状況であっても、実際に介護施設が自宅の隣にあったとしても「よく解らない」、「特別なもの」、「今の自分には関係ない」と身近に感じていないのが現状ではないのでしょうか。しかし「介護」というものは、家族や地域が支える本来当たり前のことであり、共稼ぎや核家族化により薄くなってきた家族関係、ご近所付き合いや地域のコミュニケーション能力を介護施設が担っていると考えれば、もっと身近に感じられる存在でなければならないと思います。平成18年4月の介護保険制度改正時には新しい介護サービスとして「地域密着型」と称させる介護サービスも創設され、平成24年4月からは介護サービスに包括的な役割を求める内容にするなど、国は今後更なる地域とのつながりを重要視しております。利用する視点又は近くにある介護施設を支援する視点等、何かしら係る立場として様々な視点でとらえ活用していただきたい。その一ついたしまして最近、送迎バスで見かけることが多かった「デイサービス」についてご説明いたします。



2. デイサービスって何？

「デイサービス」とは「通称」であり、正式名は「通所介護」といいます。又、これと似た「デイケア」も「通称」であり、正式名は「通所リハビリテーション」といいます。この二つの介護サービスは共通の部分もありますが、それぞれに特色があり、利用をする上では目的に応じ選択する必要があります。ここで一度整理しましょう。

名称	通称	サービス区分 実施に関する 適用制度	管理者 条件	サービスの内容	ニーズ
通所介護	デイサービス	福祉系サービス 介護保険法 老人福祉法	一般	日帰りで入浴介助・排泄介助・食事介助・機能訓練・レクリエーション等日常生活のお世話を提供します。家族の介護負担の軽減や閉じこもり予防等の目的があります。日常生活を支援し生きがいづくりを行ないます。	・閉じこもりの高齢者 ・生きがいを求める高齢者 ・認知症高齢者
通所リハビリ	デイケア	医療系サービス 介護保険法 老人保健法	医師	日帰りで理学療法士や作業療法士等の専門スタッフにより必要なリハビリテーションを行ないます。また必要に応じ入浴介助・排泄介助・食事介助を提供する事業所もあります。家族の介護負担の軽減や身体機能の維持向上目的があります。	・脳血管疾患等による肢体不自由者が比較的多い ・運動機能・身体機能の維持向上を図りたい高齢者

3. デイサービスを利用できる対象者

- ① 65 歳以上で介護保険法に基づく要介護認定で要支援 1～2 又は要介護 1～5 と認定を受けた方
- ② 40 歳以上 65 歳未満の方で特定疾患（1. 初老期の認知症 2. 脳血管疾患 3. 筋萎縮性側索硬化症 4. パーキンソン病 5. 脊椎小脳変性症 6. シャイ・ドーレガー症候群 7. 糖尿病性腎症・網膜症・神経障害 8. 閉塞性動脈硬化症 9. 慢性閉塞性肺疾患 10. 両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う変形性関節症 11. 慢性関節リュウマチ 12. 後縦靱帯骨化症 13. 脊柱管狭窄症 14. 骨粗鬆症による骨折 15. 早老症（ウェルナー症候群））のある方で介護保険の認定を受けるための申請を行い要支援 1～2 又は要介護 1～5 と認定を受けた方。
- ③ 函館市に住所を有するおおむね 65 歳以上のひとり暮らしの高齢者等で介護保険法の要介護認定において「非該当」と認定された方 → **函館市生きがい活動支援通所事業**
- ④ 介護保険法に基づく要介護認定で自立と判定され、要介護の状態ではないが、心身機能の低下や病気などのため、日常生活の一部に介助を必要とする高齢者 → **通所型介護予防事業**

4. デイサービスセンターの選び方

デイサービス（通所介護）は事業所ごとに介護保険法の設備基準、人員基準に則り、定員の規模、サービスの提供時間、サービスの内容を届出し定め運営しております

（区別） ① 要支援 1・要支援 2 指定介護予防通所介護

② 要介護 1～要介護 5 指定通所介護

※函館市内の施設のほとんどは一事業所で①②を一体的に行なっております。

（種類）大きく分けて 3 種類のデイサービスがあります。

① 一般型通所介護

② 認知型通所介護（利用する上では、認知症の確定診断が必要となります。）

③ 療養通所介護

（定員）定員数は函館市内を基準にすると、定員 10 名／1 日の事業所 ～ 定員 65 名／1 日の事業所まで様々です。又その規模ごとに利用料金がかかります。

① 小規模型通所介護 ひと月の利用者延べ人数が 300 人以下

② 通常規模型通所介護 ひと月の利用者延べ人数が 300 人以上 750 人未満

③ 大規模型通所介護（Ⅰ） . . ひと月の利用者延べ人数が 750 人以上 900 人未満

④ 大規模型通所介護（Ⅱ） . . ひと月の利用者延べ人数が 900 人以上

※規模が大きくなるほど利用料は低くなります。又介護度によっても利用料が異なります。

（専門）事業所によっては、人員及び施設体制を整え、介護保険法の定める専門サービスを行なっているところもあります。

① 運動機能向上サービス

② 口腔機能向上サービス

③ 栄養改善サービス

④ 若年性認知症対応サービス

（特徴）事業所それぞれに特色があり、利用者が自由に選択できます。

① お風呂が温泉である

② デイサービスの昼食を料亭の調理師が作っている

③ 高級感があり、別荘のような雰囲気

④ 他のデイサービスよりイベントが多い

⑤ 利用時間を延長できる

⑥ 医療機関と隣接しているので安心

⑦ 庶民的で賑やかな雰囲気

⑧ カラオケの機器が充実している

⑨ 家族的でアットホームな雰囲気

⑩ マージャン機器が充実している

⑪ 書道教室をやっている



- (料金) 利用料金は介護保険の一割自己負担金と昼食代で要介護者であれば一日平均 1, 000 円～1, 700 円程度で、要支援者は月額 5, 000 円～9, 000 円程度です。

8 : 3 0 ~ 9 : 3 0 ご自宅玄関までお迎えに伺います

9 : 3 0 デイサービスセンター到着

ティータ임・バイタルチェック（血圧、脈拍、体温）

1 0 : 0 0 午前入浴時間 趣味活動（個別）・静養

1 2 : 0 0 昼食・服薬・静養

1 3 : 3 0 集団機能訓練

（各種体操及びリハビリ的効果の望める集団レクリエーション）

1 5 : 0 0 ティータ임（菓子付）・整容・身支度

1 5 : 4 5 車両に乗車し、デイサービスセンター出発

1 6 : 0 0 ~ 1 6 : 3 0 ご自宅到着、玄関までお送りいたします。

- | | |
|---------|----------------------|
| 4月、5月 | お花見会（五稜郭公園や函館公園等で実施） |
| 7月 | 七夕祭り |
| 8月 | 流しソーメン |
| 9月 | 敬老会 |
| 10月、11月 | 紅葉狩り（大沼公園） |
| 12月 | クリスマス会・忘年会 |
| 1月 | 餅つき |
| 2月 | 節分 |
| 3月 | ひな祭り（桜餅、甘酒づくり） |
| その他 | 誕生祝賀会／毎月等 |



7. 時代で見るデイサービス

昔		現在	
印象	暗い	印象	明るい
認識	年寄りの幼稚園	認識	自己実現の場
食事	まずい	食事	おいしい
施設	選べない	施設	選べる
将来	あきらめ	将来	希望・青春
回復	望めない	回復	望める
主体	施設側	主体	利用者

8. 特別ではない身近な存在へ

デイサービスセンターは時代とともに変化し、今や高齢者の自己実現の場となっており、町内の婦人会や地域の老人クラブにも負けない「集いの場所」です。まだ利用には早いという方も、せっかくお近くにこのような社会資源があるのですから、気軽に見学に行ったり、ボランティア活動をするのも第2の人生に有能感を得られるひとつの喜びになるのではないのでしょうか。そして、ご自身が利用する立場になった時に、そこが自分らしく過ごせる場所であれば生涯青春が出来るでしょうし、特別ではなく普通のことだと周りの人に理解してほしいでしょう。高齢者や障害者を特別視し「福祉の対象」とする事が、偏見や差別を生み、自分とは縁遠い特別なものにしてしまうのです。いつか自分もそうなるかもしれない、人ごとではないと地域の皆さんが身近なものとして認識することで高齢化した街を活気付け、行政任せの介護保険等に頼るのではなく、地域力で支える本来の姿になるでしょう。

**介護とは特別なことでも何でもなし、
人生に寄り添うこと、
まさに共に暮らすと言うこと。**

すべての人間はいずれ老います。それは今も昔もかわりません。昔は普通のことであり、本来「あたりまえ」であったことだと素直に受け入れ、遠ざけるのではなく上手に活用しながら、誰にも迷惑をかけず最後まで自分らしく生きていきたいとあなたは思いませんか？